

令和2年度川越市提案型協働事業補助金 事業実施報告書

協働事業名称	「大地の園」（打木村治著）から100年前の川越を学ぶ事業
団体名	小江戸川越「大地の園」の会
市担当課名	文化芸術振興課
事業の目的	川越市は、2022年に川越市制100周年を迎える。100年前の川越を描いた打木村治の自伝的長編小説「大地の園」を市民の皆様にご覧いただき、主人公「保」が旧制川越中学校の生活を送った大正時代の川越に思いを馳せるとともに、家族・親戚・友達・地域間の愛情を育んでいく。そして、東松山市の唐子小学校時代を描いた「天の園」と合わせ、テレビドラマ化、映画化、アニメ化等の実現を目指し活動することを目的とする。
事業の実施内容	<p>1. 「大地の園」（全4巻）を普及させるため、川越市内の全小・中学校へ配布する。</p> <p>2. 「天の園」「大地の園」の作品から制作した紙芝居のDVDを川越市内の全小・中学校へ配布する。</p> <p>11月26日 市長、教育長への事業説明</p> <p>12月18日 川越市校長会にて事業説明</p> <p>12月23日 川越市教育委員会にて、小・中学校54校に「大地の園」4巻・紙芝居のDVD及び資料を配布</p>
事業実施時における市との役割分担	[行政] 市教育委員会との連絡調整
	[市民活動団体等] 書籍の購入・DVDの作成依頼 学校配布の資料の作成
事業の成果	<p>本会設立当初より「大地の園」（全4巻）の普及啓発活動に努めてきました。事務局も開所でき、少しずつではあるが市民の方々も訪問して下さるようになってきました。本年度配本した「大地の園」4巻及びDVDに関しても各学校長を中心に伝達・広報をしていただき、事業趣旨の成果が顕れ始めているのを感じとることができます。読書感想文等もお願いしておりますので今後、成果が顕れると思います。現時点における成果を足場に更なる普及啓発に努めて行きます。</p>
協働事業として継続する場合の課題とその対応策	<p>今年度は新型コロナウイルスのため講演会、展示会が開催出来なかったが次年度は実施したい。また、次年度は「大地の園」の姉妹作品である「天の園」6巻の内、3巻を小、中学校に配布する計画です。</p>
補助金が終了した場合の当該事業の見通し	<p>展示会、講演会を実施して「大地の園」の魅力を市民に伝え、川越市の魅力を全国に発信したい。</p>

令和2年度川越市提案型協働事業補助金 事業実施報告書

協働事業名称	日本語学習ボランティア講座
団体名	NPO 法人日本語教育ネットワーク
市担当課名	国際文化交流課
事業の目的	外国籍市民に対し、日本語や日本文化、日本の風習などを教える日本語教育ボランティアの育成。
事業の実施内容	川越市国際交流センター講座室にて、10名の市民に、語学的知識、異文化理解、言語教育法、コミュニケーション学、教授法、音声学などを教授した。実施期間は、令和2年11月5日から12月23日まで、全14回実施した。
事業実施時における市との役割分担	川越市の役割国際文化交流課：広報活動、教室の手配、レジュメの印刷、配布。 提案団体の役割：全14回の講師の手配、テキストの手配、資料の手配。
事業の成果	緊急事態宣言により、20回の講座予定を14回で終了することになってしまったが、受講者の出席率は、97パーセント、皆様大変に熱心に受講されました。各受講者の方とお話ししたところ、概ね満足であるとの回答を得ました。川越市の、外国籍市民に対しボランティアにて日本語を教えたいとの回答も複数得ましたので、当初の目的を果たし、大きな成果を得たと考えます。
協働事業として継続する場合の課題とその対応策	改善点として、受講者の方々と更なるコミュニケーションを図る方法を考えたい。
補助金が終了した場合の当該事業の見通し	未定です。